平成 26 年 9 月 2 日

『青少年奉仕を学ぶ』

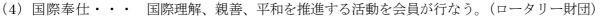
青少年奉仕委員会 故金正司委員長

1.五大奉仕の定義

(1) クラブ奉仕・・・ 本クラブの機能を充実させる。中クラ ブでは親睦、公共イメージ、会員増強、 奉仕プロジェクトの各委員会で構成。

(2) 職業奉仕・・・ 奉仕の理想を仕事に生かす。 ロータリーの理念に従って自分自身を 律し、事業を行なう。

(3) 社会奉仕・・・ 地域に居住する人々の生活の質を高め るため協力する。



GII

(5) 青少年奉仕・・・ | 青少年や若者に対して社会的指導力の養成活動、社会奉仕プロジェクトへの参加 を呼びかけ、社会貢献への意識を高める。

2.ロータリーでの青少年奉仕プロジェクト

- (1) インターアクト小委員会 (532万円)
 - 12~18歳まで
 - ・地区から532万円の補助金
 - 地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築く
- (2) ロータリーアクト小委員会 (230万円)
 - ・18~30歳までの男女 スポンサークラブにより成立している ロータリー家族の一員として奉仕のパートナーで、将来はロータリーへの入会を望む
- (3) 青少年交換小委員会(417万円)

最高で1年間、他国でホストファミリーと生活を共にして学校へ通う・・・新しい言語、自分自身 の新しい発見、自国の文化を伝える親善的な役割をもつ。

(4) 青少年育成小委員会(23万円)

青少年や若者に対して、社会的指導力の養成、社会奉仕プロジェクトの参加を呼びかけ、社会貢 献への意識を高める。

3.文部科学省キャリア教育について

- (1) 2002年より中学2年生を対象に勤労観と職業観を養う目的で全国に発信された。
- (2) 出前授業での目的と実績
 - ・世の中は原因と結果
 - 人の役に立つという心の軸をもつこと
- (3) 2630地区での現況
 - 津南ロータリークラブ
 - 羽島ロータリークラブ
 - ・鈴鹿西ロータリークラブ、鈴鹿ベイ、鈴鹿シティ (おじさん先生)、高山中央ロータリークラブ